

震災から私達ができることへ

高山 晏奈

私は、新潟県の中越地方に住んでいます。

ですから、昨年九月に起きた新潟県中越大震

災を経験しました。

その時、私はスイミングスクールにいて、

トイレに行こうとしていました。いつもは友

達と一緒にの、その日にかぎって、一人で

トイレに向かっていた。一瞬電気が消え

ました。が、すぐにだったのであまり気にしま

せませんでした。そして少し進んだその時、二

目の停電がおきた。と思った瞬間、地面が激

しくゆれ、立っていられません。でした。私が

しゃがんだ所は一人一人はなかつたので、暗闇

の中、みんながいる所まで手をついては、て

いきました。友達は、フールの津波でぬれて

いました。でも、まだフールで泳ぐ前でよか

た。と、みんな言っていました。私もよかつ

た。と思いました。

No.

No.

その日から何度も大きな余震があり、怖い
 思いをたくさんしました。でも、私達の地域
 は被害が少なかった。ので、まだいい方でした。
 でも、怖いのはみんな同じです。そんな時、
 インターネットを通じた総合学習で交流して
 いた千葉県、徳島県の柏市立旭東小学校六年生のみな
 さん、温かい支援物資をいただきました。
 私達は交流校のみなさんの温かい気持ちに本
 当にうれしく、元気になることができました。
 また、逆の立場だったら私達に同じことがで
 きただろうかと考えさせられました。
 そんな大震災から一年、また市内では
 仮設住宅に住んでいる人もたくさんいます。
 道路の復旧工事は続いていきます。でも、今年
 は大きな災害もなく、安心していられます。しか
 し、！ハキスタンでは大きな地震が起こってし
 まいました。私達は去年の経験を出して
 困っているハキスタンの人々に募金をするこ
 とにしました。地域の方々にも協力していた

だき、たくさんのお金が集まりました。日本
赤十字社を通じて募金しました。無事、ハキ
スタンに届き、ハキスタンの人々がいつもの
生活を取りもどせるように、少しでも役立て
られることを願っています。

これから私達は、去年体験した「大震災」
という災害を通して学んだことを生かし、困
っている人々の力になれるようにがんばりた
いと思っています。